

GP-Viewer EX

オペレーションマニュアル

11/2025

はじめに

本製品を正しくご使用いただくために、マニュアル類をよくお読みください。また、マニュアル類は必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

おことわり

本書に記載されている情報は、製品 / ソリューションに関する一般的な説明、技術的特性、および推奨事項を含んでいます。

本書は、詳細な調査や運用 / 現場別の開発計画や概略図の代用となるものではありません。また、特定ユーザーの用途に対する製品 / ソリューションの適合性または信頼性を判断するために使用すべきものではありません。関連する特定の用途または使用に関して製品 / ソリューションの適切かつ包括的なリスク分析、評価、および試験を行うこと、または選択した専門家（インテグレーター、設計者等）に実施させることは、当該ユーザーの義務とします。

本書で言及されている Pro-face ブランドならびにシュナイダーエレクトリック SE およびその子会社の商標は、シュナイダーエレクトリック SE またはその子会社の所有物です。その他すべてのブランドは、各所有者の商標である場合があります。

本書およびその記載内容は、該当する著作権法で保護されており、情報提供のみを目的とし提供されています。本書のいかなる部分も、いかなる形式や手段（電子的、機械的、複写、記録、またはその他）によっても、どのような目的であっても、シュナイダーエレクトリックから書面による事前の許可を得ずに、再製または頒布することはできません。

シュナイダーエレクトリックは、「現状のまま」文書を調べる非独占な個人ライセンスを除き、本ガイドまたはその記載内容を商業的に使用する権利またはライセンスを付与することはありません。

シュナイダーエレクトリックは、本書の内容またはその形式に関して、いつでも予告なく変更または更新する権利を有します。

適用法により認められる範囲で、シュナイダーエレクトリックおよびその子会社は、本書の情報コンテンツの誤りや記入漏れまたは本書に含まれる情報の使用に起因する結果、もしくはその結果から生じる結果に関し、一切責任を負いません。

商標権などについて

本書に記載の会社名、商品名は、各社の商号、商標（登録商標を含む）である場合があります。
本書の表示・記述の中では、これら権利に関する個別の表示は省略しております。

Microsoft, Windows, Windows Vista, Windows Server, および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

なお、上記の商号、商標で、本書での表記が正式な表記と異なるものは以下のとおりです。

本書での表記	正式な表記
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Operating System
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Operating System
Windows 7	Microsoft® Windows® 7 Operating System
Windows 8	Microsoft® Windows® 8 Operating System
Windows 8.1	Microsoft® Windows® 8.1 Operating System
Windows 10	Microsoft® Windows® 10 Operating System
Windows 11	Microsoft® Windows® 11 Operating System
Windows Embedded Standard 2009	Microsoft® Windows® Embedded Standard Runtime
Windows Embedded Standard 7	Microsoft® Windows® Embedded Standard 7 Runtime (WS7P)(ESD)
Windows 10 IoT	Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise 2019 LTSC
Windows Server 2003	Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System
Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer®
Pentium	Intel® Pentium® Prosessors

マニュアル表記について

■ 安全に関する注意表記

本書では、GP-Viewer EX を正しく使用していただくために、注意事項に次のような絵表示を使用しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。その表示と意味は次のようになっています。



この記号が「危険」または「警告」安全ラベルに追加されると、電気的な危険が存在し、指示に従わないと人身傷害の危険があることを示します。



安全警告記号です。人的傷害の危険性があることを警告します。この記号の後に記載された安全に関する情報に従って、人的傷害や死亡の危険性を回避してください。

▲ 危険

危険は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招きます。

▲ 警告

警告は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、死亡や重傷を招くおそれがあります。

▲ 注意

注意は、危険が生じる可能性のある状況を示します。回避しないと、軽傷を招くおそれがあります。

注記

この表示は、指示に従わないと物的損害を負う可能性があることを示します。

■ 説明のための表記

本書では説明の便宜のため、次のような絵表示や用字・用語で表記します。

表示	意味内容
重要	必ず守らなければならない注意事項や制限事項を記載しています。
MEMO	使用するに際して、ポイントとなる項目です。
*	脚注で説明している語句についています。
☞	関連事項の参照ページを示します。
1, 2	操作手順です。番号に従って操作を行ってください。

■ 用語について

本書では次のような用語や総称を使用して説明しています。

表示	意味内容
画面作成 & ロジックプログラムソフトウェア	「GP-Pro EX」を指します。
表示器	GP-Pro EX で作成した画面データを表示するための、シュナイダーエレクトリック製のタッチパネル式表示器を指します。
接続機器	PLC など、表示器に接続する機器を指します。
PLC	プログラマブル・ロジック・コントローラを指します。
GP	GP3000 シリーズ、GP4000 シリーズを指します。
IPC	PS シリーズ、PL シリーズ、PC/AT 互換機を指します。

本書では GP3000 シリーズを使用する場合の設定方法を中心に記載しています。GP3000 シリーズ以外の機種を使用する場合は、「表示器」または「GP」の記述をご使用の機種に読み替えてください。また、SD カードや CFast カードをサポートしている機種を使用する場合は、「CF」/「CF カード」の記述をご使用のメモリカードに読み替えてください。

■ グローバルコードについて

Pro-face 製品すべてに全世界共通型式としてグローバルコードが設定されています。

製品型式とグローバルコードの対比は下記 URL を参照してください。

<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1003.html>

安全に関する使用上の注意

本書には、GP-Viewer EX を正しく安全にお使いいただくために安全表記が記述されています。本書ならびに関連マニュアルをよくお読みいただき、GP-Viewer EX の正しい取り扱い方法と機能を十分にご理解いただきますようお願いします。

▲ 警告

装置の意図しない動作または制御不能

- ・タッチパネル上のスイッチを使用して、人的や物的損害につながるスイッチを作らないでください。表示器本体、ユニット、ケーブルなどの故障により出力が ON し続けたり、OFF し続けたりし重大な事故につながります。重大な事故につながる出力信号についてはリミッタなどの監視回路を設けてください。また、重大な動作を行うスイッチは表示器本体以外の装置より行うようにシステム設計をしてください。誤出力、誤動作による事故のおそれがあります。
- ・タッチパネル上のスイッチは非常用停止スイッチとして使えません。産業用ロボットほか、産業用機械の非常停止スイッチは、必ず人間が直接操作するスイッチを設置することが義務づけられています。また、これ以外の装置でも安全確保のために、必ず同様のスイッチを設置してください。
- ・GP-Viewer EX から表示器を操作する場合、機器に予期しない動作が発生したり、機器の破損や人身事故につながることがあります。操作を行う必要がある場合は、操作を行う前に現場の了承を確認するようにしてください。また「自動解除しない」を有効にした特殊スイッチ(操作ロック用)を使用して、機器が勝手に動かないようにシステムを設計してください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または物的損害を負う可能性があります。

▲ 注意

耳への刺激

- ・GP-Pro EX のインストールディスクは CD-ROM または DVD-ROM です。一般のオーディオ CD/DVD プレーヤでは絶対に再生しないでください。予期せぬ大音量により聴覚に障害を負ったり、スピーカが破損するおそれがあります。

上記の指示に従わないと、傷害または物的損害を負う可能性があります。

注記

データの消失

- ・プログラム使用中に、パソコン本体の電源を OFF しないでください。プロジェクトファイルが破損するおそれがあります。
- ・テキストエディタなどを使用して、プロジェクトファイルの中身を変更しないでください。プロジェクトファイルが破損するおそれがあります。
- ・表示器上でプロジェクトファイルを変更する機能を使用中に、表示器の電源 OFF やリセットを行わないでください。プロジェクトファイルが破損するおそれがあります。

上記の指示に従わないと、物的損害を負う可能性があります。

サイバーセキュリティ

■ サイバーセキュリティガイドライン

本製品は、セキュアな産業制御システムの下で使用してください。サイバー攻撃の脅威からコンポーネント（装置 / デバイス）、システム、組織、およびネットワークを総体的に保護するためには、多層的なサイバーリスク低減措置、インシデントの早期発見、インシデント発生時の適切な対処と復旧計画が必要です。サイバーセキュリティの詳細については、Pro-face HMI/IPC サイバーセキュリティガイドを参照してください。

https://www.proface.com/ja/download/manual/cybersecurity_guide

▲ 警告

システムの可用性、完全性、機密性に対する潜在的な侵害

- デバイスの設定、制御、および情報への不正アクセスを防ぐために、初回使用時に既定のパスワードを変更してください。
- 悪意のある攻撃の経路を最小限に抑えるために、可能な限り、使用していないポート / サービスおよびデフォルトアカウントを無効にしてください。
- ネットワークに接続されたデバイスは、多層のサイバー防御（ファイアウォール、ネットワークセグメンテーション、およびネットワーク侵入検出と保護など）の背後に配置してください。
- 最新のアップデートと修正プログラムをオペレーティングシステムとソフトウェアに適用してください。
- サイバーセキュリティーのベストプラクティス（例：最低限の権限、職務の分離）を使用して、データやログの不正な漏洩、損失、および改ざん、サービスの中断、または意図しない操作を防止してください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または物的損害を負う可能性があります。

目次

はじめに.....	1
商標権などについて.....	2
マニュアル表記について	3
安全に関する使用上の注意.....	5

第 1 章 概要

1.1 GP-Viewer EX とは.....	1-2
1.2 動作環境.....	1-4
1.3 表示器との相違点	1-5
1.4 開発の流れ	1-8

第 2 章 GP-Viewer EX を使いこなそう！

2.1 設定メニュー	2-2
2.2 GP-Viewer EX で表示器のデータを表示、操作したい.....	2-3
2.2.1 詳細	2-3
2.2.2 表示手順	2-4
2.2.3 操作手順	2-7
2.3 GP-Viewer EX で設定を変更したい.....	2-9
2.3.1 詳細	2-9
2.3.2 GP-Viewer EX 起動時の表示位置を変更したい.....	2-10
2.3.3 GP-Viewer EX の CPU 占有率を変更したい	2-11
2.3.4 GP-Viewer EX の情報更新周期を変更したい	2-12
2.4 GP-Viewer を表示 / 操作できる人を制限したい（セキュリティ）.....	2-13
2.4.1 詳細	2-13
2.4.2 表示手順	2-14
2.4.3 操作手順	2-18

第 3 章 設定ガイド

3.1 GP-Viewer EX の設定ガイド	3-2
3.1.1 メイン画面の各部名称	3-2
3.1.2 画面認証	3-8
3.1.3 設定変更	3-10
3.1.4 サーバ接続画面	3-11
3.1.5 パスワードダイアログボックス	3-13

第 4 章 制限事項

4.1 表示	4-2
4.2 SRAM の処理	4-3
4.3 接続	4-4

第5章 トラブルシューティング

5.1 表示器の動作が遅い.....	5-2
5.2 GP-Viewer EX の反応が遅い	5-3
5.3 パソコン上の他のアプリケーション動作が遅い	5-4
5.4 エラーメッセージ	5-5

1

概要

1.1	GP-Viewer EX とは	1-2
1.2	動作環境	1-4
1.3	表示器との相違点	1-5
1.4	開発の流れ	1-8

1.1 GP-Viewer EX とは

▲ 警告

装置の意図しない動作または制御不能

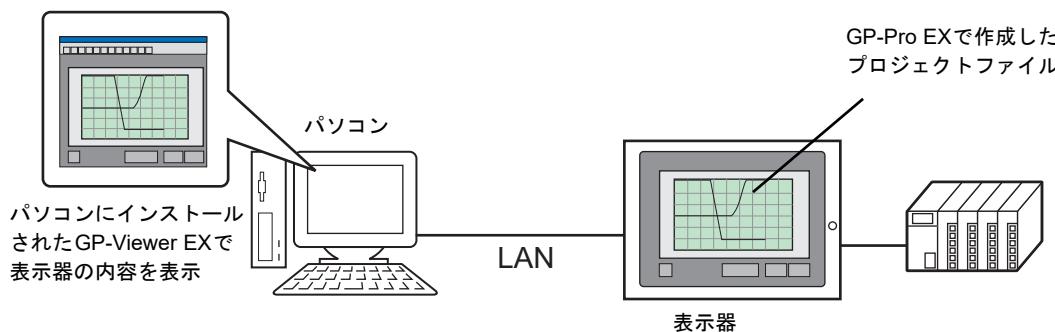
- GP-Viewer EX から表示器を操作する場合、機器に予期しない動作が発生したり、機器の破損や人身事故につながることがあります。操作を行う必要がある場合は、操作を行う前に現場の了承を確認するようにしてください。また「自動解除しない」を有効にした特殊スイッチ（操作ロック用）を使用して、機器が勝手に動かないようにシステムを設計してください。

上記の指示に従わないと、死亡、重傷、または物的損害を負う可能性があります。

GP-Viewer EX は遠隔地に設置されている表示器の画面をパソコン上で表示し、操作できるアプリケーションです。GP-Viewer EX を使用すると、現場の異常発生時に復旧作業や状況監視、また日々のメンテナンスができます。

この機能を使用するにはパソコンと表示器が同じ LAN/WAN 上に設置されており、また GP-Viewer EX をパソコンにインストールし、表示器にライセンスを設定する必要があります。

GP-Viewer EX は GP-Pro EX（Ver2.10 以上）の CD-ROM または DVD-ROM からインストールするか、弊社のホームページよりダウンロードできます。



■ ライセンスについて

◆ キーコード

GP-Viewer EX をご利用いただくには別途ライセンスをご購入いただく必要があります。別売の GP-Viewer EX ライセンス（型式：EX-VIEWER-LICENSE）を準備してください。ライセンスをご購入いただくと、[キーコード] の記載された文書が発行されます。

重 要

- キーコード入力手順は以下を参照してください。

- ☞ 保守 / トラブル解決ガイド「M.5.3 GP-Viewer EX や RPA のライセンスを設定したい」
- キーコードを紛失されると、再発行できません。キーコードは大切に保管してください。

◆ アプリケーション

GP-Viewer EX は下記の場所よりインストールします。

- GP-Pro EX（Ver2.10 以上）の CD-ROM または DVD-ROM をお持ちの場合

CD-ROM または DVD-ROM をパソコンの CD/DVD ドライブにセットし、表示されるセットアップ

画面で「GP-Viewer EX」をクリックします。

セットアップ画面が自動的に表示されない場合は、CD-ROM または DVD-ROM 内の「GPViewerEX」フォルダより、setup.exe をダブルクリックしてインストールできます。

- Web サイトからダウンロードする場合

弊社のサポート専用サイト <http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html> からダウンロードすることもできます。

MEMO

- インストール手順については以下を参照してください。

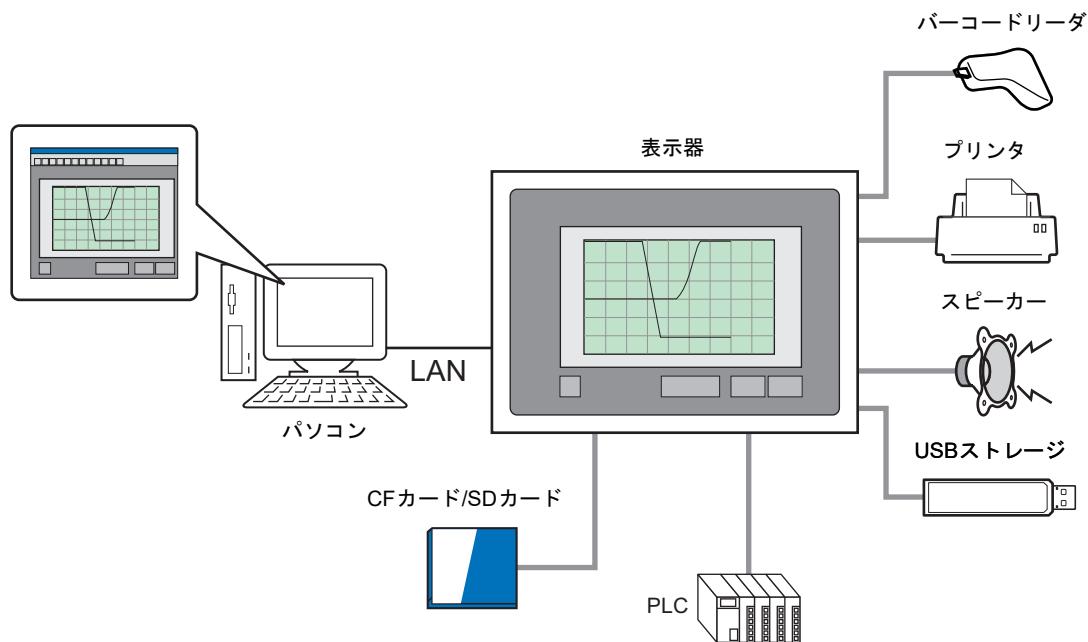
☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「GP-Viewer EX のインストール / アンインストール」

■ 対象機種

GP-Viewer EX が使用できる表示器の機種については、「GP-Pro EX リファレンスマニュアル」の「機種別サポート機能一覧」を参照してください。

■ 全体構成

GP-Viewer EX 使用時の接続またはオプション環境は以下のようになります。



1.2 動作環境

GP-Viewer EX は下記の環境にインストールが可能です。

重 要

- Windows Embedded 搭載機種に GP-Viewer EX をインストールしたり、GP-Viewer EX の設定を保存する際は、ライトフィルタを無効にしてください。

パソコン	Windows が正常に動作する PC/AT 互換機
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows11 64bit 版の Home、Pro、Enterprise Windows10 32/64bit 版の Home、Pro、Enterprise Windows Embedded Standard 7 (ML)^{*1} Windows Server 2016 全エディション Windows Server 2019 全エディション Windows Server 2022 全エディション
メモリ	上記 OS のシステム要件に準じます。
CPU	上記 OS のシステム要件に準じます。 ^{*2}
ハードディスクスペース ^{*3}	150M バイト以上
解像度	1024 x 768 以上
言語	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアメニューの表示言語 日本語、英語 GP-Viewer EX 上で表示できる言語 日本語、欧米、韓国語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、ロシア語(キリル文字)、タイ語
必要機材	<ul style="list-style-type: none"> マウス(上記 OS に対応しているもの) 必ずご使用ください。 DVD ドライブ インストール時に使用します。 LAN ポート LAN での接続に必要です。

^{*1} PS/PE-4000、SP5000 シリーズオープンボックスのみ。

^{*2} ARM64、ARM32 は対応していません。

^{*3} インストールする際に必要な空き容量です。

1.3 表示器との相違点

GP-Viewer EX でご利用いただける機能は、表示器で機能を利用する場合と相違があります。

■ デバイス

- GP-Viewer EX から以下のアドレスに書き込みを行った場合は、画面モードに関係なく GP-Viewer EX 側の #H_ChangeScreenNo に書き込まれます。
 - [#INTERNAL]LS0008(ダイレクトアクセス方式)
 - [#MEMLINK]0015(メモリリンク方式)
 - システムデータエリアの [切り替え画面番号] に指定した接続機器アドレス
- 同期モードでは、GP-Viewer EX は表示器側のアドレスに対して書き込み / 読み出しを行います。ただしシステム変数や時計データは、GP-Viewer EX 側のアドレスに対して書き込み / 読み出しを行います。
- 非同期モードでは、GP-Viewer EX は GP-Viewer EX 側のアドレスに対して書き込み / 読み出しを行います。ただし以下のアドレスは、表示器側のアドレスに対して書き込み / 読み出しを行います。
 - システム設定 [接続機器設定] で間接機器を設定した際の、[機器指定アドレス] 以外の内部デバイスアドレス (LS エリア /USR エリア)
 - システムデータエリアの [切り替え画面番号] 以外の接続機器アドレス

■ 各機能の相違点

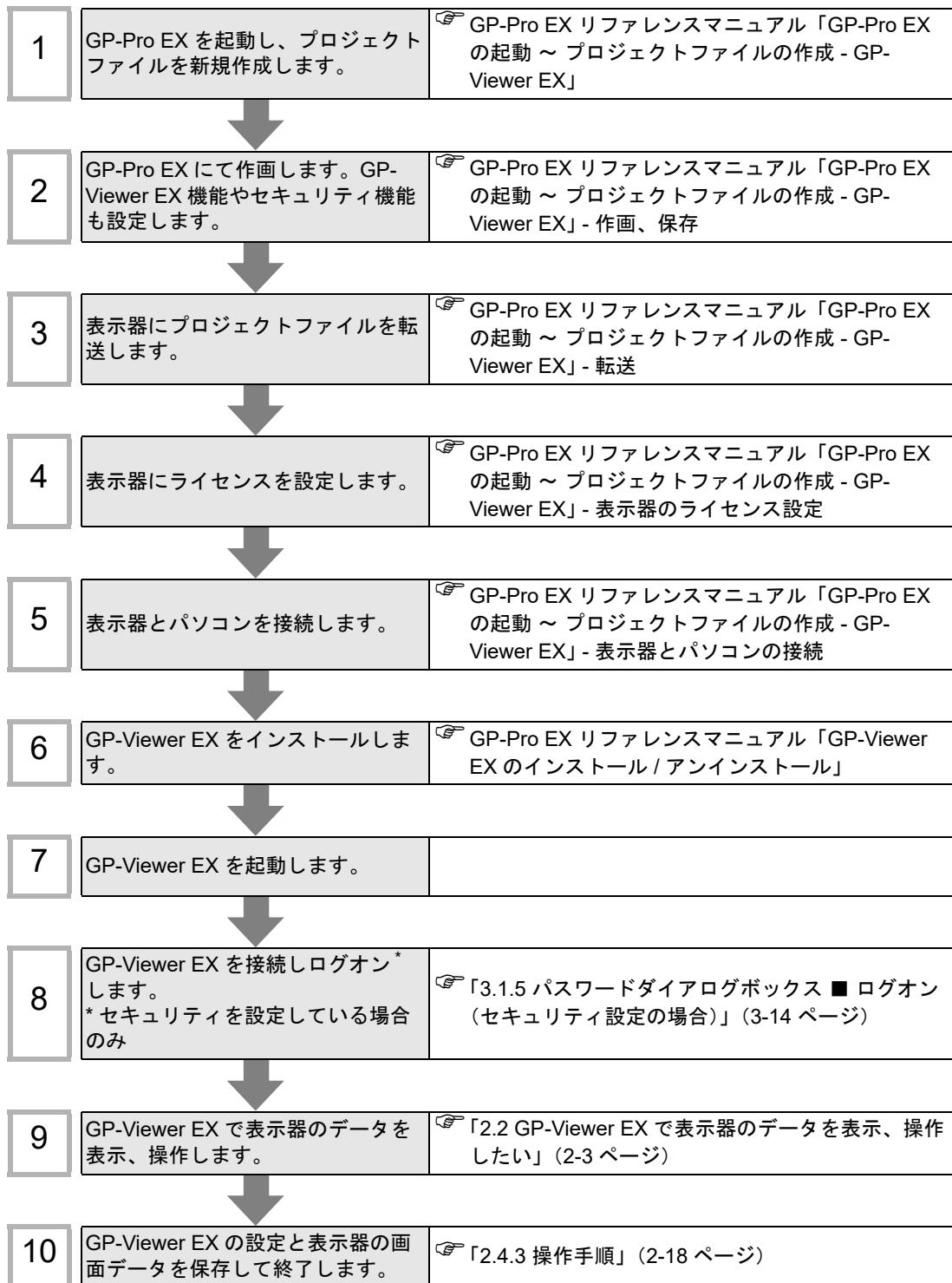
機能	詳細
スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> AUX 出力は使用できません。 セキュリティ、リセット、オフライン、その他未サポート機能に関係する特殊スイッチは使用できません。 スイッチを重ねているか、マルチファンクション化している場合、表示器と異なる動作をする事があります。
サンプリング表示器	<ul style="list-style-type: none"> データ編集はできません。 1回目はサンプリングした情報を全て取得し、2回目以降は GP-Viewer EX の [設定変更] - [情報の自動更新周期] で設定した周期で情報を更新します。 絞り込み検索 / ソート機能は使用できますが、表示器とは同期しません。
アラーム機能	<ul style="list-style-type: none"> サブ表示機能は、アラーム部品が表示されていなくても、表示器側の操作で予期せぬタイミングで実行される事があります。 外部操作によるアラーム情報のクリアはできません。 表示器側と表示内容が異なる場合があります（時刻情報やアクティブなアラームの状態等）。[画面の更新] を行うとアラーム情報を取得し直しますので訂正されます。 アラーム情報の保存はできません。 アラームの [確認][クリア] 操作はできません。 [アラーム No 取得] は行えません。 異常解析機能を使用した場合、解析リストには操作ログは表示されません。 絞り込み検索 / ソート機能は使用できますが、表示器とは同期しません。
ロジックプログラム機能 グローバル D スクリプト 拡張スクリプト	<ul style="list-style-type: none"> 表示器で処理した結果は参照できますが、描画の結果は反映されません。

機能	詳細
Dスクリプト	<ul style="list-style-type: none"> 同期モードの場合は動作します。ただし、描画の結果は反映されません。 非同期モードでも同じ画面を表示していると実行されます。
トリガアクション	<ul style="list-style-type: none"> 非同期モードの場合、同じ画面を表示しているときは実行されます。この時、表示器の画面が切り替わっても GP-Viewer EX 側の画面は切り替わりません。そのため [アプリ起動]、[WinGP の終了] を実行しても GP-Viewer EX では確認できないので、GP-Viewer EX からはこれらの操作を行わないでください。 同期モードの場合は動作します。ただし、描画の結果は反映されません。
画面キャプチャ	<ul style="list-style-type: none"> 画面キャプチャ設定による表示器画面のキャプチャはできません。[機能] メニューの [画面のキャプチャー] で行ってください。
エラー	<ul style="list-style-type: none"> 表示器側と GP-Viewer EX 側の両方のエラーを表示します。 1回目は全てのエラーを取得し、2回目以降は GP-Viewer EX の [設定変更] - [情報の自動更新周期] で設定した周期で情報を更新します。 復旧したエラーの表示は消えません。画面切り替え時消去のみ有効です。
データ表示器	<ul style="list-style-type: none"> 数値表示器 / 文字列表示器において、アドレスタイプに“デバイスタイプ&アドレス”を指定して、モニターワードアドレスに接続機器 (PLC) を使用するとエラーが発生します。
ヒストリカルトレンドグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ビューアのカーソル情報格納アドレス、ステータスアドレス、検索ステータスは参照できません。
データ一括表示グラフ	<ul style="list-style-type: none"> 非同期モードの場合、グラフのクリア / 再表示を行うには [更新 (U)] メニューから [一括表示グラフ] を選択してください。同期モード中に更新が行われない場合も同様です。
XY ヒストリカルトレンドグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 画面切り替え直後は、前回のサンプリングデータも含めて、バッファにあるすべてのデータがグラフに表示されます。
XY データ一括表示グラフ XY ヒストリカルトレンドグラフの理想曲線	<ul style="list-style-type: none"> 表示器側で D スクリプトや接続する PLC のラダーでコントロールワードを高速で変更する場合は、サーバ側の操作を検知できない事があります。 非同期モードでグラフを更新する場合は、グラフの表示完了ビットが ON しないため、表示器側でコントロールワードを 0 に戻す事ができません。あらかじめコントロールワードを 0 に戻すスイッチを配置してください。
回覧メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 表示 / 非表示の切り替えを連続して行うと、表示内容が表示器と同期しない場合があります。 メッセージを更新するには、一度消去してから再表示させてください。 表示完了ビットは操作できません。
レシピ機能	<ul style="list-style-type: none"> レシピ機能は動作しません。 特殊データ表示器 (データ転送、ファイリング、CSV 表示) は表示されません。
ファイルマネージャ	<ul style="list-style-type: none"> ステータスアドレス、動画選択は設定できません。 表示されるのは GP-Viewer EX のパソコン内のファイルです。
内部デバイス (LS エリア、) メモリリンク	<ul style="list-style-type: none"> 特殊リレーエリア (LS2071 ~ LS2074, LS2078 ~ LS2095) に対するビューアからの書き込みは、できません。 特殊リレーエリア、拡張システムエリアへの書き込みは未サポートです。

機能	詳細
セキュリティ機能	<ul style="list-style-type: none"> GP-Pro EX で [GP-Viewer データ値読み込み] にセキュリティ設定をしている場合、セキュリティレベルの変更やクリアは、[メニュー]-[機能]-[セキュリティレベルの切り替え] もしくは [ユーザー ID の切り替え] から行ってください。 なお、ユーザ ID/ パスワードを空白にして、OK ボタンを押すと、セキュリティレベルを 0 にする事ができます。 パスワード変更画面からのセキュリティ情報(ユーザ ID、パスワード、セキュリティレベル、指紋データ)の変更やクリアはできません。
操作ログ	<ul style="list-style-type: none"> 操作ログは保存されません。
Web Server、FTP 機能	<ul style="list-style-type: none"> Web Server、FTP 機能は動作しません。
RPA 機能	<ul style="list-style-type: none"> RPA 機能は使用できません。
印刷機能	<ul style="list-style-type: none"> 印刷機能は動作しません。
プロジェクトファイルの転送	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトファイルの転送はできません。
モニタ機能	<ul style="list-style-type: none"> デバイスマニタ、アドレスモニタ、ラダーモニタ、ロジックモニタは使用できません。
バックライト 2 色切り替え	<ul style="list-style-type: none"> バックライト 2 色切り替えはできません。
ファンクションキー	<ul style="list-style-type: none"> ハンディタイプ GP のファンクションキーは操作できません。
PDF 機能	<ul style="list-style-type: none"> PDF ビューアは使用できません。 GP-Viewer EX 側から PDF ビューア表示を実行 (PDF ビューアのコントロールワードアドレスの表示ビットを ON) しても、GP-Viewer EX 側では PDF ビューアは表示されません (表示器側では表示されます)。表示ビットは ON 後、OFF に戻ります。 表示器側で PDF ビューアが表示されている場合、GP-Viewer EX 側には PDF ビューアは表示されません。同期モードの場合は、PDF ビューア表示中は GP-Viewer EX 側でのタッチ操作は無効になります。
動画機能	<ul style="list-style-type: none"> 動画の録画、再生はできません。 動画表示器、画像ユニット表示器は表示されません。 画像センサー表示器に映像は表示されません。
日本語 FEP (学習機能)	<ul style="list-style-type: none"> 表示器に登録されている辞書情報は利用できません。
EZ タワーライト	<ul style="list-style-type: none"> #H_Signal*** で始まるシステム変数に対して書き込み / 読み出しを行っても EZ タワーライトの操作やステータス確認はできません。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 各部品のステータスアドレス、検索ステータスアドレス、カーソル情報格納アドレスの情報は取得できません。 システム設定 [本体設定]-[表示設定] で [反転表示] を有効にしていても、反転表示はできません。 スタンバイモードに移行しません。 なお、表示器はスタンバイモードに移行しますが、ビューア接続中は、移行時の画面の切り替えが行われません。 輝度、コントラストは調整できません。 オフラインモードへの移行はできません。 バーコードリーダは接続できません。 モデムには接続できません。 タグの整合性チェックはできません。 Pro-Server EX の局検索に応答しません。 GP-Viewer EX 上の時計表示はパソコンの時計情報をもとに表示されます。

1.4 開発の流れ

GP-Pro EX の起動、画面作成、パソコンで表示器の画面データを表示、操作する GP-Viewer EX のインストール、GP-Viewer EX の操作までの流れを以下に示します。



2

GP-Viewer EX を 使いこなそう！

2.1	設定メニュー.....	2-2
2.2	GP-Viewer EX で表示器のデータを表示、操作したい.....	2-3
2.3	GP-Viewer EX で設定を変更したい.....	2-9
2.4	GP-Viewer を表示 / 操作できる人を制限したい（セキュリティ）.....	2-13

2.1 設定メニュー

この章でご紹介する機能を使用できる本体機種には制限があります。設定を行う前に、ご使用の機種が機能に対応しているかどうかご確認ください。

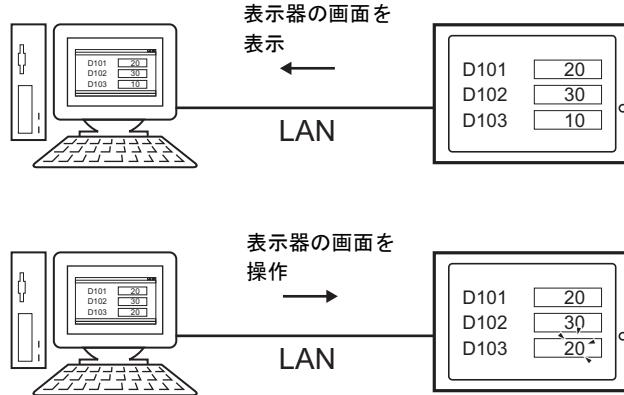
☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「機種別サポート機能一覧」

<p>GP-Viewer EX で表示器のデータを表示、操作したい</p>	<p>☞ 表示手順 (2-4 ページ) ☞ 詳細 (2-3 ページ)</p>
<p>GP-Viewer EX で設定を変更したい</p>	<p>☞ GP-Viewer EX起動時の表示位置を変更したい (2-10 ページ) ☞ 詳細 (2-9 ページ)</p>
<p>GP-Viewer で表示/操作できる人を制限したい(セキュリティ)</p>	<p>☞ 表示手順 (2-14 ページ) ☞ 詳細 (2-13 ページ)</p>

2.2 GP-Viewer EX で表示器のデータを表示、操作したい

2.2.1 詳細

サーバとなる表示器とパソコンを LAN で接続し、表示器に表示されているデータを GP-Viewer EX を使ってパソコンで表示器を操作したり、表示内容を確認することができます。



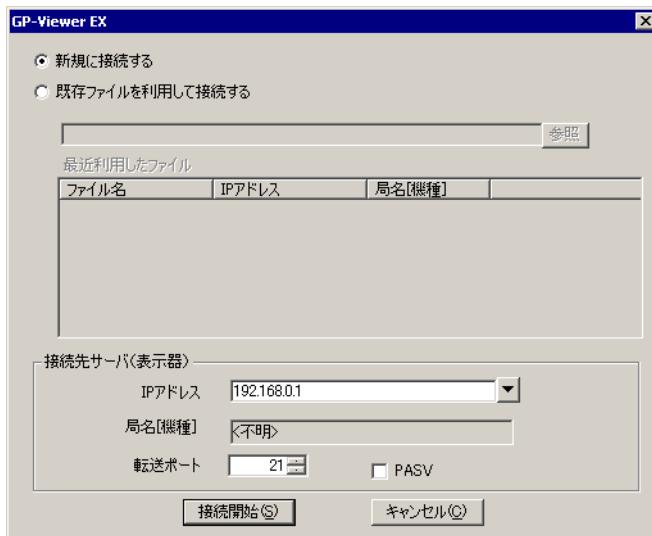
MEMO

- ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
- ☞ 「3.1 GP-Viewer EX の設定ガイド」(3-2 ページ)
- ・ GP-Viewer EX で表示器のデータを表示、操作するためには GP-Pro EX でプロジェクトファイルの設定を行う必要があります。設定手順の詳細は以下を参照してください。
- ☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「GP-Viewer EX で表示器のデータを表示 / 操作したい」

2.2.2 表示手順

1 パソコンの [スタート] メニューから [すべてのプログラム] — [Pro-face] — [GP-Viewer EX] の順に選択し、[GP-Viewer EX] をクリックします。

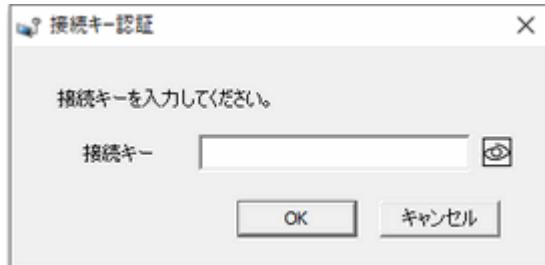
2 GP-Viewer EX が起動します。[接続先サーバ(表示器)] の [IP アドレス] に接続する表示器の IP アドレスを設定します。



MEMO

- IP アドレスの設定等についてはネットワーク管理者の方にご連絡ください。
- を選択すると、接続できる表示器の検索ができます。
- 接続する表示器はドメイン名でも設定できます。IPC シリーズをご利用の場合はパソコン名でも設定できます。半角英数 500 文字以内で設定してください。

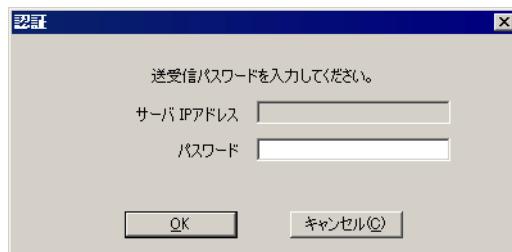
3 [接続開始(S)] を選択すると、表示器に接続キーが設定されている場合は次のような画面が表示されます。[接続キー設定] ダイアログボックスで [接続キーを転送時に確認する] のチェックを外した場合は次の手順に進みます。



MEMO

- キーを間違えると [サーバー接続画面] に戻ります。
- アイコン [] をクリックするとキーが表示されます。

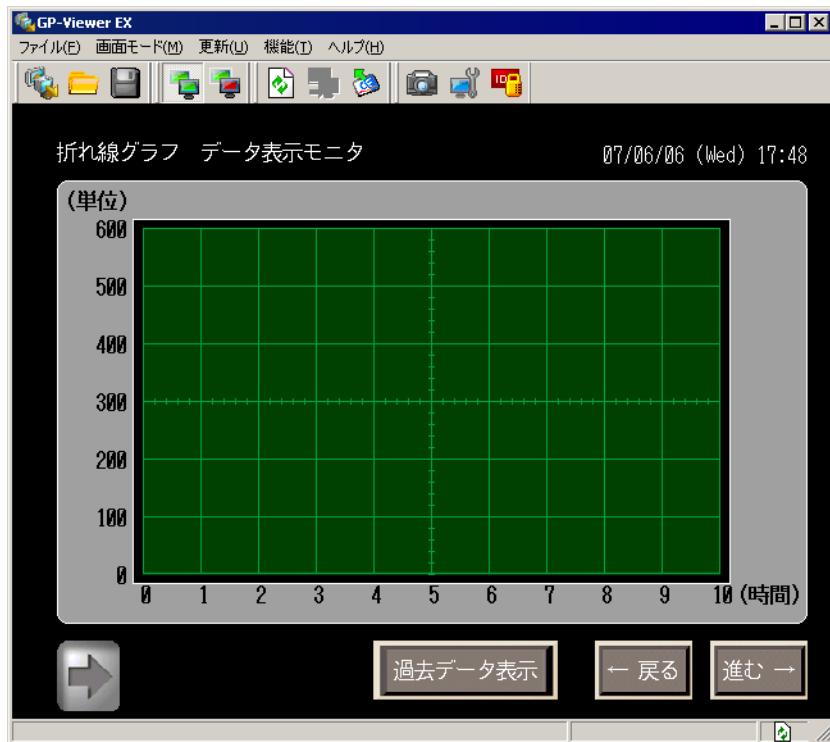
4 表示器に表示されているプロジェクトファイルに送受信用パスワードが設定されている場合は次のような画面が表示されます。送受信用パスワードが設定されていない場合は次の手順にすすみます。



MEMO

- ・パスワードが間違っている場合は3回まで入力をうながす画面が表示され3回以上間違えると[サーバ接続画面]に戻ります。

5 表示器に表示されている画面が表示されます。

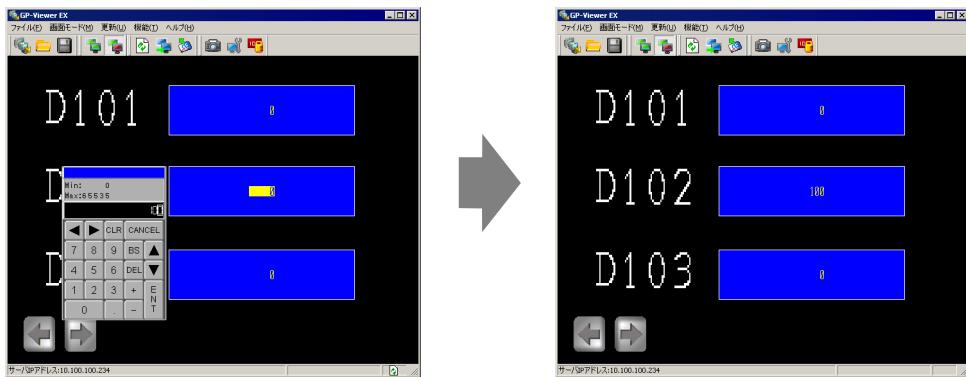


MEMO

- 表示器側の画面にセキュリティレベルが設定されている場合はセキュリティレベルに設定したパスワードを入力する必要があります。
- ☞ 「2.4 GP-Viewer を表示 / 操作できる人を制限したい(セキュリティ)」(2-13 ページ)
- GP-Viewer EX 起動時のセキュリティレベル、同期、非同期のしくみ詳細については以下を参照してください。
- ☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「GP-Viewer EX 起動時」
- GP-Viewer が複数台接続されている場合、1台で操作を開始すると他の GP-Viewer でのタッチ操作ができないよう設定することができます。詳細については以下を参照してください。
- ☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「操作中はほかの表示器からの操作を禁止したい (Ether マルチリンク)」

2.2.3 操作手順

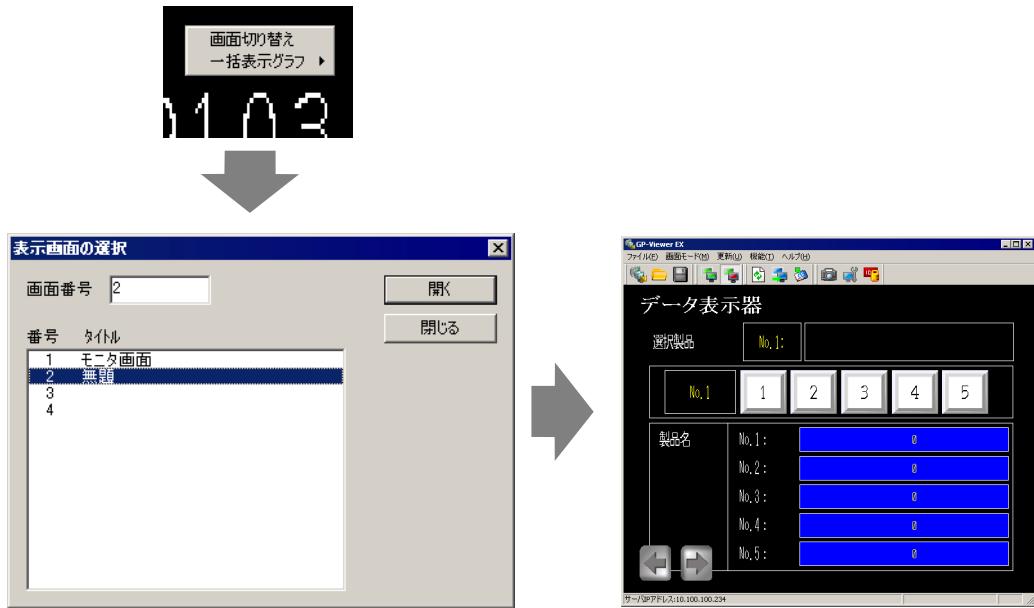
- 1 表示器に表示されている画面を操作し、デバイスアドレスの値を変更します。変更結果が表示器に反映されます。



MEMO

- 表示器の画面を表示中に表示器がオフラインモードに移行した場合は、GP-Viewer EX からの接続が切断され、表示器がオンラインになった後に再度接続する必要があります。

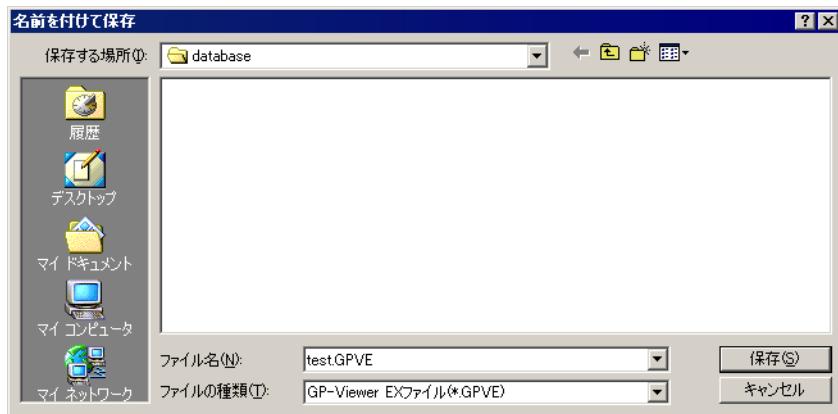
- 2 GP-Viewer EX の [サーバ画面] を右クリックしてから表示器の画面を切り替えることもできます。



MEMO

- 表示器の画面を切り替えるためにはセキュリティレベル 15 以上でログオンされている必要があります。
- 表示器側で画面の切り替えを禁止する設定にしている場合、GP-Viewer EX からの画面切替はできません。

- 3 [ファイル (F)] メニューから [名前をつけて保存 (S)] を選択すると [ファイル名を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。[保存する場所 (I)] と [ファイル名 (N)] を指定して [保存 (S)] をクリックします。 (例 : test.GPVE)

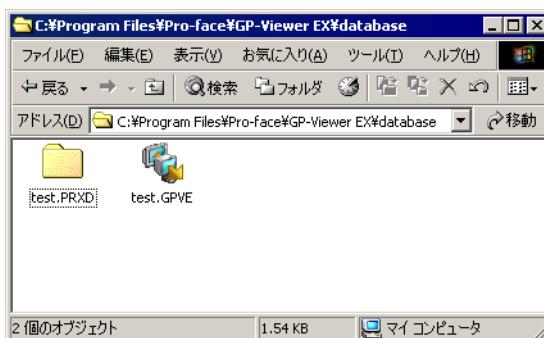


- 4 [ファイル (F)] メニューから [終了 (X)] を選択して GP-Viewer EX を終了します。

MEMO

- ・ 設定ファイルを保存する場所は半角英数 200 文字以内で設定してください。
- ・ 設定ファイルに変更がある場合は再度保存を確認するメッセージが表示されます。

- 5 保存先に「test.GPVE」ファイルと「test.PRXD」フォルダが保存されます。



- 6 再度同じ状態で起動する場合は設定ファイル (***.GPVE) をダブルクリックし、サーバ接続を開始します。

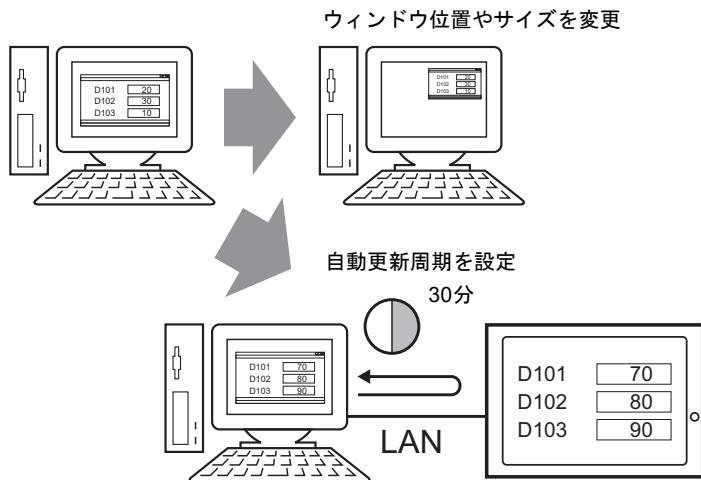
MEMO

- ・ 設定ファイルは [ファイルメニュー (F)] から [設定ファイルを開く (O)] を選択すると [サーバ接続画面] ダイアログボックスが表示されるので [既存ファイルを利用して接続する] から保存したファイルを選択して、起動することもできます。
- ・ 設定ファイルの保存場所が 200 文字を超える場合はエラーメッセージが表示され、設定ファイルを開くことができません。設定ファイルをパスが半角英数 200 文字以内のところに移動してください。
- ・ 新規 [保存] する場合、[名前を付けて保存] するなど、プロジェクトファイル情報の保存場所が変更される場合は、保存処理が開始される前に、メッセージが表示され画面表示をリセットし保存します。この場合データー括表示グラフは、表示がクリアされます。またアラーム履歴のサブ表示などは表示状態が変わることあります。

2.3 GP-Viewer EX で設定を変更したい

2.3.1 詳細

GP-Viewer EX 起動時の GP-Viewer EX 表示位置を指定したり GP-Viewer EX が占有するパソコンの CPU 占有率を変更、または表示器のエラー、サンプリングデータなど、GP-Viewer EX から表示器に定期的に情報に変化がないか収集する際の周期を設定します。



2.3.2 GP-Viewer EX 起動時の表示位置を変更したい

GP-Viewer EX の表示位置を設定します。

- 1 [機能 (T)] メニューから [設定変更 (S)] を選択すると次のような [ビューアの設定] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [起動時の画面の位置] で [指定した位置] を選択するとサイズが指定できるので [X 座標]、[Y 座標]、[幅]、[高さ] を設定します。

MEMO

- [現在の位置] をクリックすると現在のウィンドウ表示位置を反映します。

- 3 GP-Viewer EX 再起動後に設定したサイズでウィンドウが表示されます。

2.3.3 GP-Viewer EX の CPU 占有率を変更したい

GP-Viewer EX が占有するパソコンの CPU 占有率を変更します。他のソフトと GP-Viewer EX を起動して使用する場合、短時間に表示器からの情報を更新したい場合などに CPU 占有率を変更します。

- 1 [機能 (T)] メニューから [設定変更 (S)] を選択すると次のような [ビューアの設定] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [GP-Viewer EX の CPU 使用率] を選択します。

MEMO

- CPU の占有率を下げるとパソコンの負担は軽くなりますが、更新画面の表示が追従しない場合があるのでご注意ください。

2.3.4 GP-Viewer EX の情報更新周期を変更したい

表示器のエラー、サンプリングデータなど、GP-Viewer EX から表示器に定期的に情報に変化がないか収集する際の周期を指定します。表示器の動作が遅くなった場合などに更新周期を長くすることにより動作速度が改善されます。

- 1 [機能 (T)] メニューから [設定変更 (S)] を選択すると次のような [ビューアの設定] ダイアログボックスが表示されます。

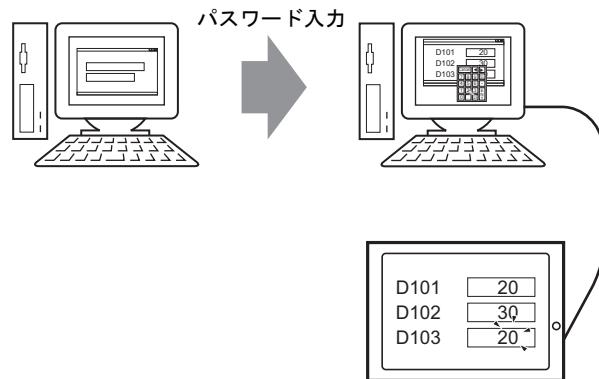


- 2 [情報の自動更新周期] を選択し、0.1 秒ずつ設定します。(例 : 10 秒)

2.4 GP-Viewer を表示 / 操作できる人を制限したい（セキュリティ）

2.4.1 詳細

GP-Viewer EX で表示器に表示されているデータを表示、操作できる人を制限したい場合にセキュリティレベルを切り替えます。ここでは、メンテナンス担当者用セキュリティレベル 15 とパスワード（5555）、状況監視担当者用のセキュリティレベル 1 とパスワード（1111）でセキュリティレベルを切り替えます。セキュリティ設定方法はレベルモード設定とユーザー ID モード設定があります。



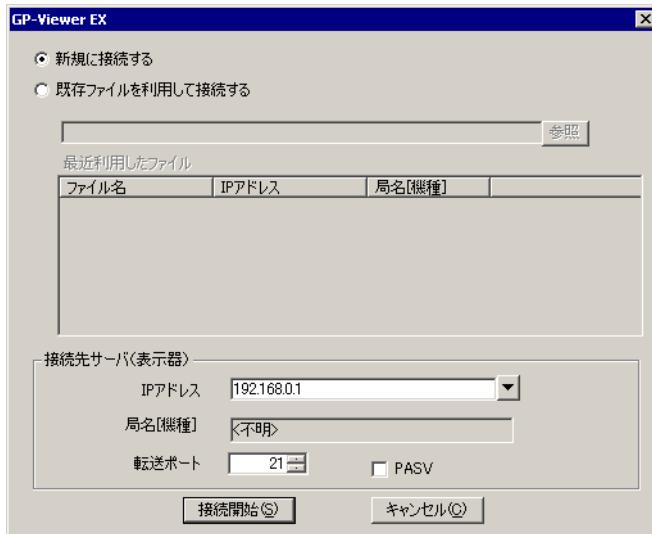
MEMO

- ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
- ☞ 「3.1 GP-Viewer EX の設定ガイド」（3-2 ページ）
 - ・ GP-Viewer EX で表示、操作できる人を制限するためには GP-Pro EX でセキュリティを設定したプロジェクトファイルを表示器に転送する必要があります。設定手順の詳細は以下を参照してください。
- ☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「GP-Viewer EX の表示 / 操作できる人を制限したい（セキュリティ）」

2.4.2 表示手順

1 パソコンの [スタート] メニューから [すべてのプログラム] — [Pro-face] — [GP-Viewer EX] の順に選択し、[GP-Viewer EX] をクリックします。

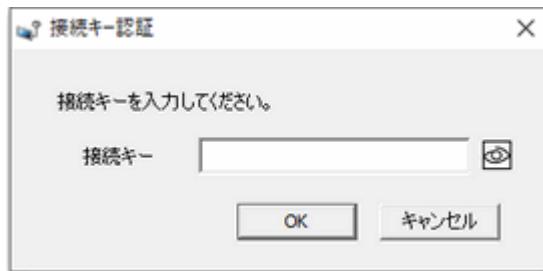
2 GP-Viewer EX が起動します。[接続先サーバ（表示器）] の [IP アドレス] に接続する表示器の IP アドレスを設定します。



MEMO

- IP アドレスの設定等についてはネットワーク管理者の方にご連絡ください。
- を選択すると、接続できる表示器の検索ができます。
- 接続する表示器はドメイン名でも設定できます。IPC シリーズをご利用の場合はパソコン名でも設定できます。半角英数 500 文字以内で設定してください。

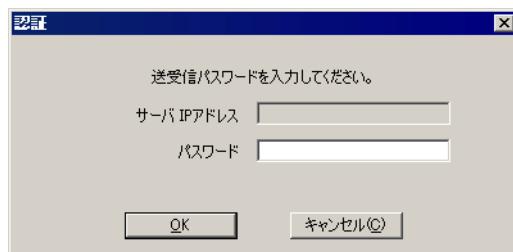
3 [接続開始 (S)] を選択すると、表示器に接続キーが設定されている場合は次のような画面が表示されます。[接続キー設定] ダイアログボックスで [接続キーを転送時に確認する] のチェックを外した場合は次の手順に進みます。



MEMO

- キーを間違えると [サーバ接続画面] に戻ります。
- アイコン [] をクリックするとキーが表示されます。

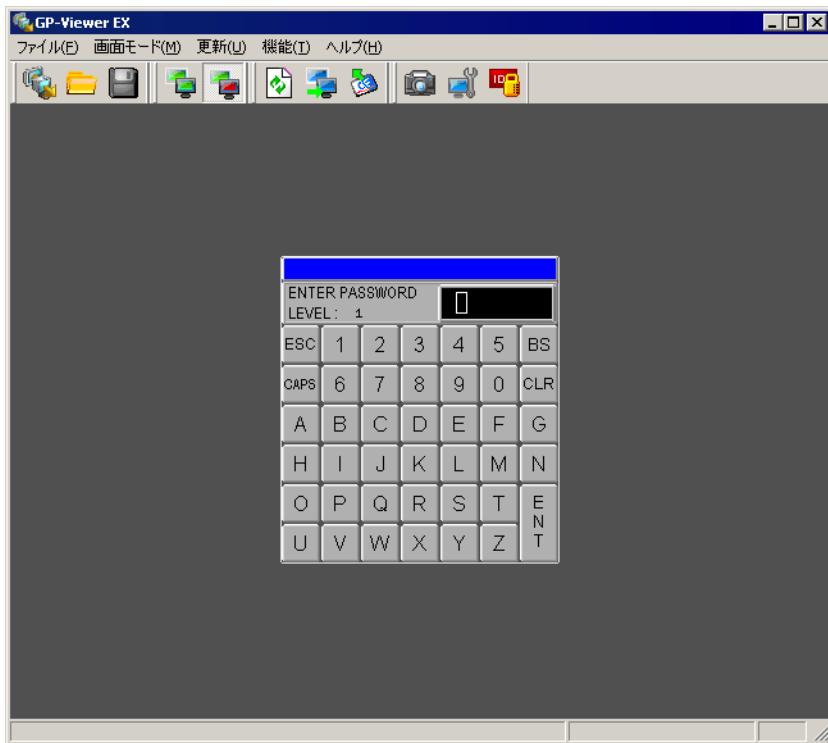
4 表示器に表示されているプロジェクトファイルに送受信用パスワードが設定されている場合は次のような画面が表示されます。送受信用パスワードが設定されていない場合は次の手順にすすみます。



MEMO

- パスワードが間違っている場合は3回まで入力をうながす画面が表示され3回以上間違えると[サーバ接続画面]に戻ります。

- 5 表示器に表示されている画面のセキュリティレベルを入力する次のような画面が表示されるので半角英数 8 文字以内でパスワードを入力します。（例：[GP-Viewer データ値読み込み] の操作ができるセキュリティレベル 1 が画面に設定されている場合、セキュリティレベル 1 にあらかじめ設定されていたパスワード「1111」を入力する。）



MEMO

- 画面にセキュリティレベルではなくユーザ ID も設定されている場合はユーザ ID を入力します。

設定手順は以下を参照してください。

☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「設定手順 - GP-Viewer EX の表示 / 操作できる人を制限したい（セキュリティ）ユーザ ID モード」

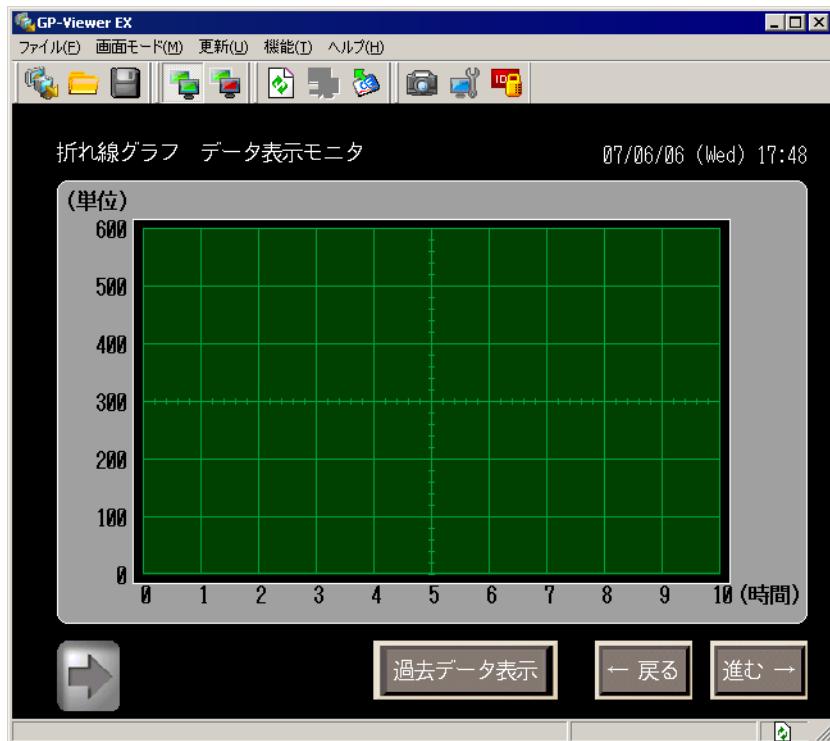
- GP-Viewer EX 起動時のセキュリティレベル、同期、非同期のしくみ詳細については以下を参照してください。

☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「GP-Viewer EX 起動時」

6 表示器の画面が表示されます。

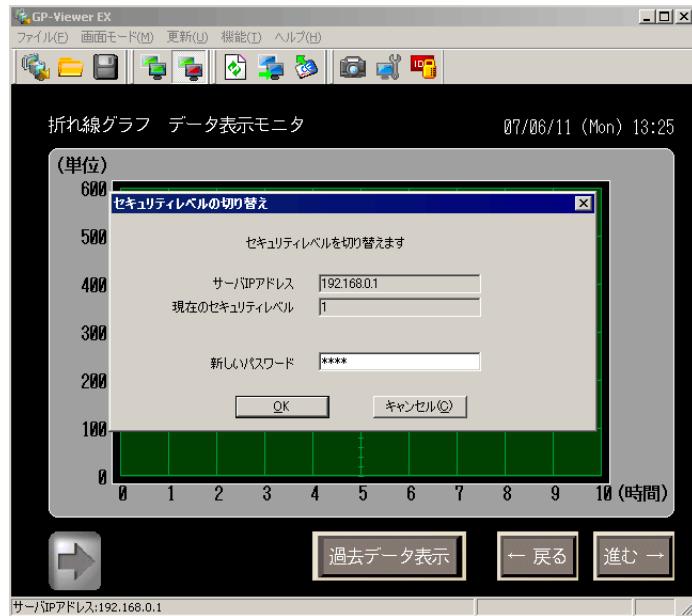
MEMO

- 表示器の画面を表示中に表示器がオフラインモードに移行した場合は、GP-Viewer EX からの接続が切断され、表示器がオンラインになった後に再度接続する必要があります。



2.4.3 操作手順

- 1 [機能(T)] メニューから [セキュリティレベルの切り替え(L)] を選択すると次のような [セキュリティレベルの切り替え] ダイアログボックスが表示されるので、メンテナンス担当者用セキュリティレベルに設定されているパスワードを入力します。（例：メンテナンス担当者用セキュリティレベル：15、パスワード：5555）

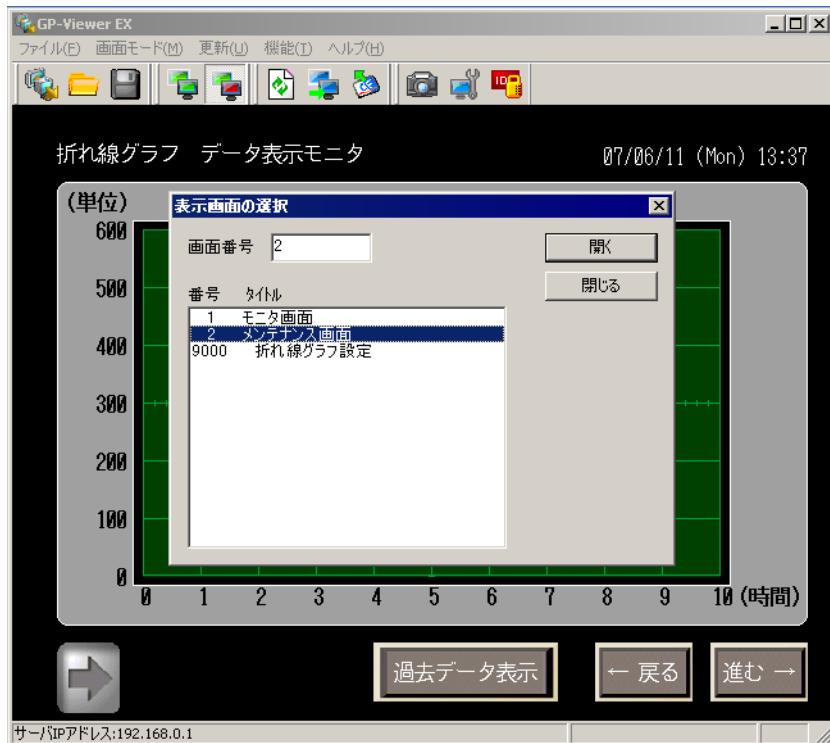


MEMO

- 画面切り替え時のセキュリティレベルと同期、非同期のしくみ詳細については以下を参照してください。

☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「画面切り替え時」

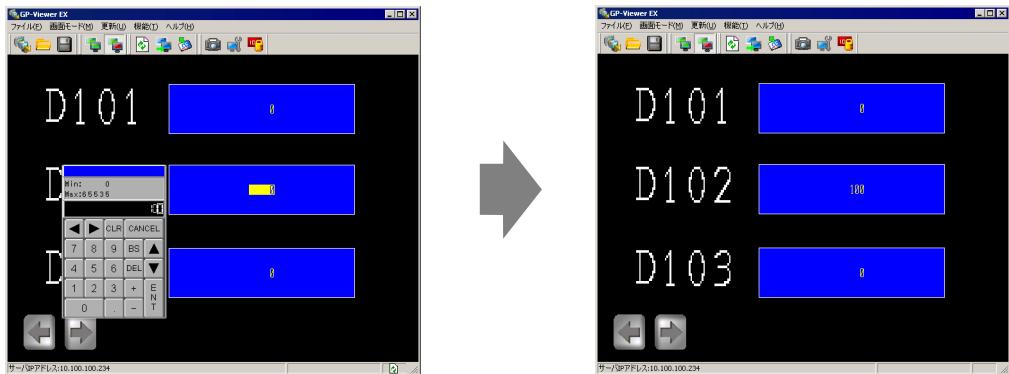
2 [サーバ画面] を右クリックして [画面切り替え] を選択すると次のような [表示画面の選択] ダイアログボックスが表示されるので切り替え先の画面を選択し、[開く] を選択します。（例）[メンテナанс画面]



MEMO

- 表示器の画面を切り替えるためにはセキュリティレベル 15 以上でログオンしてい
る必要があります。
- セキュリティレベルの切り替えは [機能 (T)] メニューから [セキュリティレベルの
切り替え (L)] を選択しても切り替えることができます。

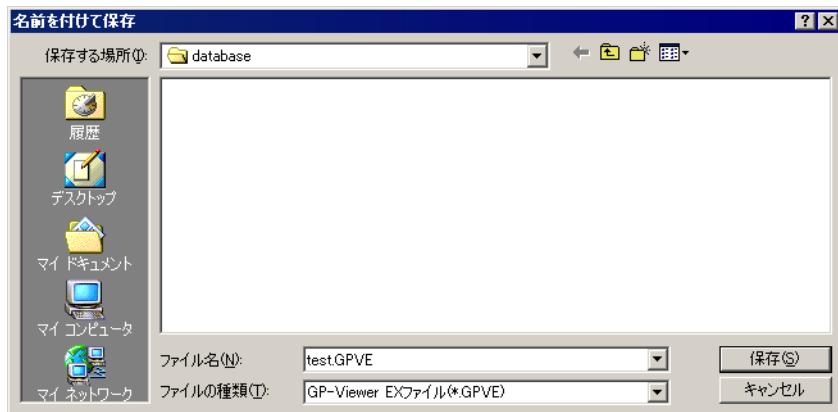
3 切り替え先に表示されている画面を操作し、デバイスアドレスの値を変更します。変更結果が表示器に反映されます。

**MEMO**

- 表示器の画面を表示中に表示器がオフラインモードに移行した場合は、GP-Viewer EX からの接続が切断され、表示器がオンラインになった後に再度接続する必要があります。
 - GP-Viewer EX 画面操作時のセキュリティレベル、同期、非同期のしくみ詳細については以下を参照してください。
- ☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「パソコンで表示器のデータを表示 / 操作したい（GP-Viewer EX / Web Server）」

4 [ファイル (F)] メニューから [名前をつけて保存 (S)] を選択すると [名前をつけて保存] ダイアログボックスが表示されるので、[保存する場所 (I)] と [ファイル名 (N)] を指定して [保存 (S)] をクリックします。

(例 : test.GPVE)



5 [ファイル (F)] メニューから [終了 (X)] を選択して GP-Viewer EX を終了します。



MEMO

- ・ 設定ファイルに変更がある場合は再度保存を確認するメッセージが表示されます。

6 保存先に「test.GPVE」ファイルと「test.PRXD」フォルダが保存されます。



7 再度同じ状態で起動する場合は設定ファイル（***.GPVE）をダブルクリックし、サーバ接続を開始します。

MEMO

- ・ 設定ファイルは [ファイルメニュー (F)] から [設定ファイルを開く (O)] を選択すると [サーバ接続画面] ダイアログボックスが表示されるので [既存ファイルを利用して接続する] から保存したファイルを選択して、起動することもできます。
- ・ GP-Viewer EX 起動時の画面モード、同期、非同期のしくみ詳細については以下を参照してください。

☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「GP-Viewer EX 起動時」

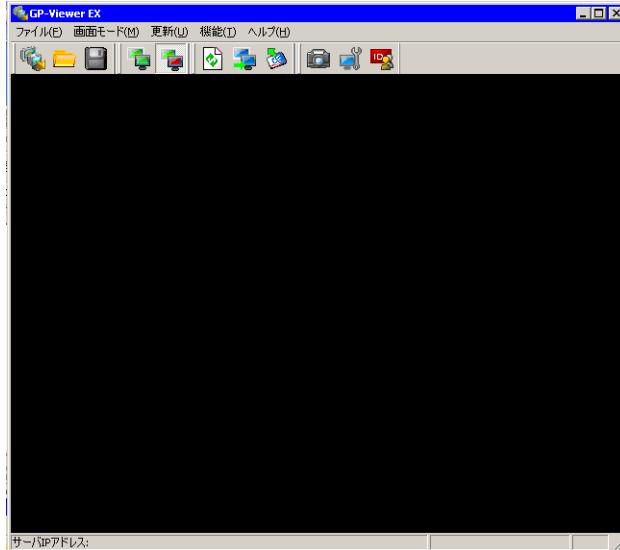
3

設定ガイド

3.1 GP-Viewer EX の設定ガイド 3-2

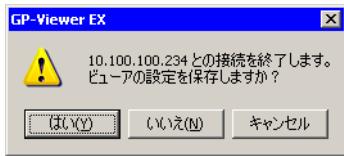
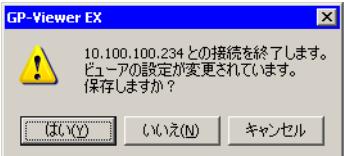
3.1 GP-Viewer EX の設定ガイド

3.1.1 メイン画面の各部名称

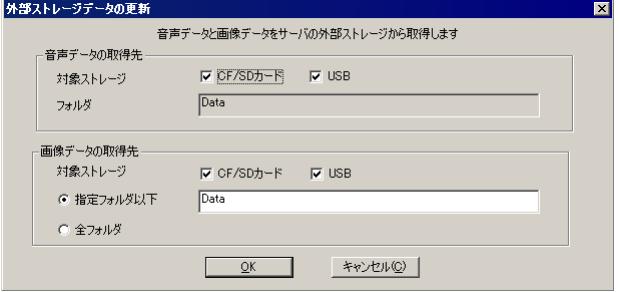


設定項目	設定内容
タイトルバー	GP-Viewer EX のウィンドウタイトルを表示します。[ツール(T)]メニューから [設定変更] をクリックして [ウィンドウ設定] の [GP-Viewer EX のタイトル] でタイトルを半角英数 63 文字以内で設定できます。
ツールバー	画面モード切り替え、更新、機能などコマンドを表すアイコンが表示されています。これらのアイコンをクリックすると、その操作を実行します。
[ファイル(F)]	新規接続 (N) (新規起動) MEMO • 新しく開けるウィンドウは最大 3 つまでです。
	設定ファイルを開く (O) (別サーバに接続) [サーバ接続画面] の [既存ファイルを使用する] が選択された状態でダイアログボックスが開きます。既に表示器に接続している場合は、[閉じる (C)] と同じ動作になります。

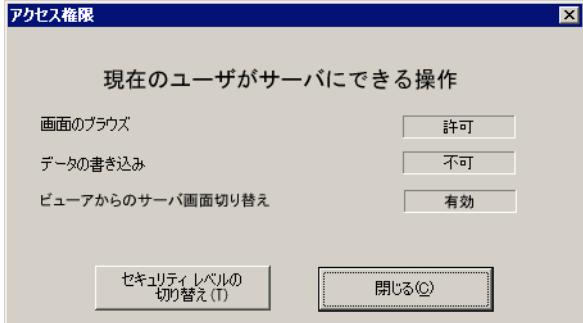
次のページに続きます。

設定項目		設定内容
ツールバー [ファイル(F)] メニュー	閉じる (C)	<p>GP-Viewer EX の設定に変更があれば、設定ファイルの保存を確認するメッセージが表示され、保存後 GP-Viewer EX を閉じます。</p> <p>新規の場合</p>  <p>既存の場合</p> 
	上書き保存 (S)	既に保存されている設定ファイルを (*.GPVE) を上書き保存します。
	名前を付けて保存 (A)	<p>設定ファイルの保存先を指定して設定ファイルを保存します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトファイル送受信用パスワードは設定ファイルに保存されますが、セキュリティ設定で設定したユーザー名とパスワードは設定ファイルに保存されません。 画面モードも設定ファイルに保存します。
	終了 (X)	設定ファイルが開いている場合は、[閉じる (C)] 動作を行い、設定ファイルが閉じられたら GP-Viewer EX を閉じます。
	[同期モード (S)] ボタン	画面非同期モードから画面同期モードに切り替えます。
	[画面非同期モード (A)] ボタン	<p>表示器側の画面切り替えに影響されず、表示器側とは別画面を GP-Viewer EX で表示できます。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面同期モードと非同期モードの詳細については下記を参照してください。 <p>☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「GP-Viewer EX を利用した場合の同期、非同期のしくみ」</p>

次のページに続きます。

設定項目		設定内容					
ツールバー [更新] ツールバー [表示グラフ]	画面の更新 (U)	表示器からアラーム情報を取得し、その内容で GP-Viewer EX 画面に表示されるアラームを更新します。またサンプリングデータや表示器に表示されているエラーの取得や、一括表示グラフの更新を行います。					
	サーバ表示画面に切り替える (S)	画面非同期で情報更新周期が長い場合に、任意で表示器で表示されている画面に GP-Viewer EX の画面を切り替えます。					
	外部ストレージデータの更新 (D)	 <p>表示器内の外部メモリに存在するイメージファイル、サウンドデータ差分情報を取得します。</p>					
	音声データの取得先	<table border="1"> <tr> <td>対象ストレージ</td> <td>更新したい音声データが保存されている対象ストレージを [CF/SD カード]、[USB] から選択します。</td> </tr> <tr> <td>フォルダ</td> <td>更新したい音声データが保存されているフォルダのパスが表示されます。</td> </tr> </table>	対象ストレージ	更新したい音声データが保存されている対象ストレージを [CF/SD カード]、[USB] から選択します。	フォルダ	更新したい音声データが保存されているフォルダのパスが表示されます。	
対象ストレージ	更新したい音声データが保存されている対象ストレージを [CF/SD カード]、[USB] から選択します。						
フォルダ	更新したい音声データが保存されているフォルダのパスが表示されます。						
画像データの取得先	<table border="1"> <tr> <td>対象ストレージ</td> <td>更新したい画像データが保存されている対象ストレージを [CF/SD カード]、[USB] から選択します。</td> </tr> <tr> <td>指定フォルダ以下</td> <td>更新したい画像データが保存されているフォルダのパスを半角英数 80 文字以内で設定します。</td> </tr> <tr> <td>全フォルダ</td> <td>画像データが保存されている対象ストレージ内の全データを更新します。</td> </tr> </table>	対象ストレージ	更新したい画像データが保存されている対象ストレージを [CF/SD カード]、[USB] から選択します。	指定フォルダ以下	更新したい画像データが保存されているフォルダのパスを半角英数 80 文字以内で設定します。	全フォルダ	画像データが保存されている対象ストレージ内の全データを更新します。
対象ストレージ	更新したい画像データが保存されている対象ストレージを [CF/SD カード]、[USB] から選択します。						
指定フォルダ以下	更新したい画像データが保存されているフォルダのパスを半角英数 80 文字以内で設定します。						
全フォルダ	画像データが保存されている対象ストレージ内の全データを更新します。						
表示	表示変更通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。						
クリア	クリア変更通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。						
クリアして再表示	クリアして再表示通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。						

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
[機能 (T)] メニュー	
画面のキャプチャー (C)	クリックした時点で GP-Viewer EX に表示中の画面をキャプチャーして JPEG 閲覧用アプリケーションが起動し、キャプチャーが表示されます。[ファイル (F)] メニューより [名前をつけて保存 (A)] を選択して JPEG ファイル形式で保存できます。
アクセス権限	
画面のブラウズ	表示器の画面表示が許可されているかどうかを表示します。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> セキュリティが設定されていない場合は [ユーザ ID の切り替え] とボタンに表示され、切り替えできません。
データの書き込み	ログオンしているセキュリティレベルで GP-Viewer EX から表示器のデバイスの値を書き込みが許可されているかどうかを表示します。
ビューアからのサーバ画面切り替え	ログオンしているセキュリティレベルで GP-Viewer EX から表示器の画面切り替えが有効になっているかどうかを表示します。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> 画面切り替えの操作をするためには、GP-Pro EX のシステム設定ウィンドウ [本体設定] - [遠隔監視設定] で [クライアントから画面切替を有効にする] が設定されており、セキュリティレベルが 15 のユーザでログオンする必要があります。 [データの書き込み] が [不可] の場合は、[無効] になります。 GP-Pro EX のシステム設定ウィンドウ [本体設定] - [遠隔監視設定] で [クライアントから画面切り替えを有効にする] にチェックが入っていても、セキュリティ機能で [GP-Viewer データ書き込み] が無効に設定されている場合、[ビューアからのサーバ画面切り替え] は [無効] になります。
ユーザ ID の切り替え (セキュリティレベルの切り替え)	ログオンしているユーザまたはセキュリティレベルから違うユーザ、セキュリティレベルに切り替えます。
閉じる	[アクセス権限] ダイアログボックスを閉じます。

次のページに続きます。

設定項目		設定内容
ツールバー [機能] [ツール][T]	設定変更 (S)	<p>[設定変更] ダイアログボックスが開き、GP-Viewer EX のウィンドウ表示位置や情報の自動更新周期、CPU 占有率を設定することができます。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 各設定の詳細は下記を参照してください。 <p>☞「2.3 GP-Viewer EX で設定を変更したい」(2-9 ページ)</p>
	ユーザ ID の切り替え (U) /セキュリティレベルの切り替え (U)	<p>ログオンしているセキュリティレベルを変更します。セキュリティ設定でユーザ ID を設定している場合は [ユーザ ID の切り替え] ダイアログボックスが表示され、セキュリティレベルで設定されている場合は [セキュリティレベルの切り替え] のダイアログボックスが表示されます。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 各設定の詳細は下記を参照してください。 <p>☞「3.1.5 パスワードダイアログボックス ■ ユーザ ID の切り替え」(3-15 ページ)</p> <p>☞「3.1.5 パスワードダイアログボックス ■ セキュリティレベルの切り替え」(3-15 ページ)</p>
[ヘルプ] [ヘルプ][H]	オペレーションマニュアル (M)	「GP-Viewer EX オペレーションマニュアル」が起動します。
	オンラインアップデート (U)	「GP-Viewer EX」を更新（アップデート）できます。
	バージョン情報	GP-Viewer EX のバージョンが確認できます。 選択すると、[バージョン情報] ダイアログボックスが表示されます。
	Product Version (バージョン表示)	GP-Viewer EX のバージョン情報を表示します。
	User Name (ユーザ名表示)	GP-Viewer EX インストール時に入力したユーザ名を表示します。
	Company Name (組織名表示)	GP-Viewer EX インストール時に入力した組織名を表示します。
	構成ファイルのバージョンを取得する	[ファイル名を付けて保存] ダイアログボックスが表示されて構成ファイルを保存します。
	OK ボタン	ダイアログを閉じます。

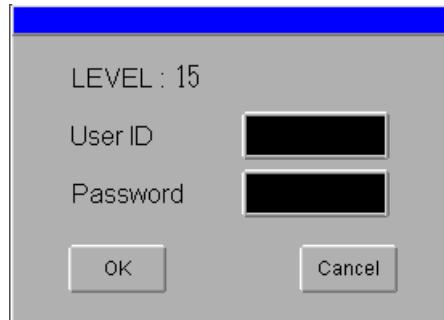
次のページに続きます。

設定項目	設定内容						
サーバ画面	接続先表記器の画面が表示されます。 [サーバ画面] を右クリックして表示されるメニューです。 [画面切り替え] を選択すると次のような画面が表示され、表示器の画面を切り替えることができます。						
右クリックメニュー	<p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 右クリックで画面切り替えの操作をするためには、表示器にセキュリティレベルが設定されており、GP-Viewer EX のユーザがレベル 15 でログオンしている必要があります。 						
画面切り替え	GP-Viewer EX 内に表示しきれない画面領域はスクロールバーでスクロールすることができます。						
一括表示 グラフ	<table border="1"> <tr> <td>表示</td><td>表示変更通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。</td></tr> <tr> <td>クリア</td><td>クリア変更通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。</td></tr> <tr> <td>クリアして再表示</td><td>クリアして再表示通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。</td></tr> </table>	表示	表示変更通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。	クリア	クリア変更通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。	クリアして再表示	クリアして再表示通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。
表示	表示変更通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。						
クリア	クリア変更通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。						
クリアして再表示	クリアして再表示通知を GP-Viewer EX 側で検知できない場合に使用します。						
スクロールバー	GP-Viewer EX 内に表示しきれない画面領域はスクロールバーでスクロールすることができます。						
ステータスバー	画面データ受信時のプログレスバーが表示されます。						
ストップボタン	接続処理を中止することができます						

3.1.2 画面認証

画面切り替え操作を行う場合、切り替え先の画面のセキュリティレベルが、ログオンしているセキュリティレベルより上の場合、次のような [画面認証] ダイアログボックスが表示されます。

■ ユーザ ID 設定の場合



設定項目	設定内容
LEVEL	現在ログオンしているユーザのセキュリティのレベルを表示します。
User ID	切り替え先画面のセキュリティレベルに設定されているユーザ ID を半角英数 8 文字以内で設定します。
Password	切り替え先画面のセキュリティレベルに設定されているパスワードを半角英数 8 文字以内で設定します。

■ セキュリティ設定の場合

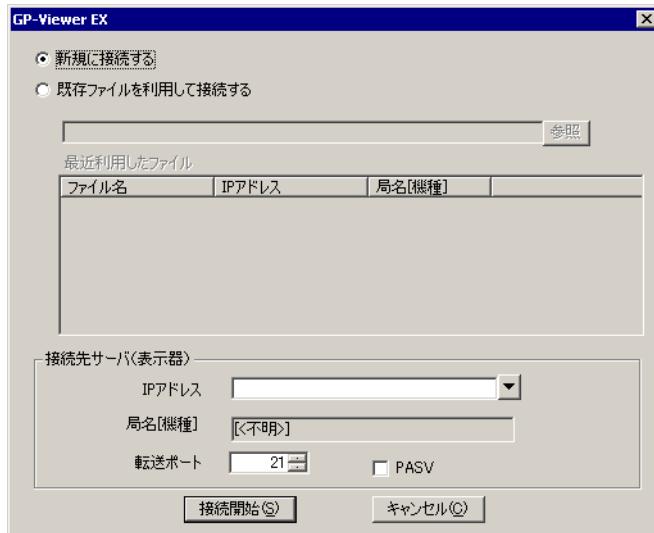
設定項目	設定内容
新しいパスワード	切り替え先画面のセキュリティレベルに設定されているパスワードを半角英数8文字以内で設定します。

3.1.3 設定変更



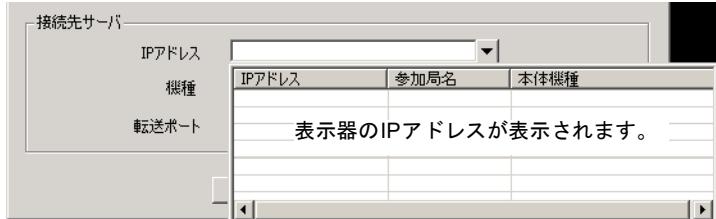
設定項目	設定内容
ビューアのタイトル	GP-Viewer EX のタイトルを半角英数 63 文字以内で設定します。
起動時の画面の位置	<p>GP-Viewer EX 起動時のウィンドウの位置を [前回終了時と同じ位置]、[指定したい位置]、[デスクトップの中央] から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回終了時と同じ位置 GP-Viewer EX の前回表示位置と同じ位置で表示します。 指定したい位置 指定の座標位置に指定サイズで表示します。 デスクトップの中央 デスクトップの中央に、表示器画面のサイズに合わせたサイズで表示します。 例) 表示器画面が VGA (640×480) の場合は、横幅は、ウィンドウ枠、スクロールバーが加算されたサイズ (約 650) になります。 縦幅は、タイトル、メニュー、ツールバー、ステータスバーを含めたサイズ (約 530) になります。 <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規作成時は、デスクトップの中央に、600×400 のサイズ表示を開始し、未接続時の場合は、デスクトップ中央に OS 推奨サイズで表示します。(1024×768 で 600×400 程度)。接続に成功した場合は、接続した表示器の画面サイズに合わせたサイズで表示されます。
X 座標、Y 座標	[起動時の画面の位置] で [指定したい位置] を選択している場合に GP-Viewer EX 起動時のウィンドウ表示位置を X 座標、Y 座標から設定します。
幅、高さ	ウィンドウのサイズを [幅]、[高さ] で設定します。[幅]、[高さ] は 0 ~ 選択機種の最大解像度で設定します。
現在の位置	現在の GP-Viewer EX の位置が [X 座標]、[Y 座標]、[幅]、[高さ] に設定されます。
情報の自動更新周期	GP のエラー、サンプリングデータなどを GP-Viewer EX から定期的に情報に変化がないか収集する周期を 1 秒 ~ 3600 秒 (1 時間) で設定します。0.1 秒ごとに設定できます。
	MEMO
	<ul style="list-style-type: none"> アラーム発生時だけは情報の更新周期に関係なく更新します。
ビューアの CPU 使用率	GP-Viewer EX がパソコンの CPU を占拠しすぎないように CPU 占有率を [レベル 1:10%]、[レベル 2:20%]、[レベル 3:30%]、[レベル 4:40%]、[レベル 5:制限なし] から選択します。

3.1.4 サーバ接続画面



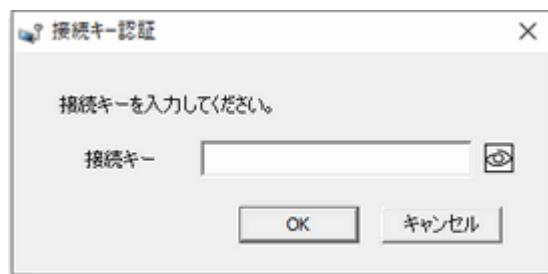
設定項目	設定内容
新規に接続する	前回保存した設定ファイル (*.GPVE) の情報を使用せず、新規に表示器への接続を行います。
既存ファイルを利用して接続する	前回保存した設定ファイルの情報を元に表示器への接続を行います。 MEMO <ul style="list-style-type: none"> 最近使ったファイルが存在しない場合は、エラーメッセージが表示され、接続できません。
既存ファイルパス	最後に設定したファイルのパスが表示されます。
最近利用したファイル	最後に保存されたファイルを上から順番に 10 つ一覧で表示します。設定ファイルを選択すると [既存ファイルパス] に設定ファイルの保存場所が反映されます。最大表示行数 10 を超えるファイルが保存されている場合は、一番古いファイルから削除し、設定ファイルが保存されていない場合は空白が表示されます。設定ファイル名、表示器の IP アドレス (パソコン名またはドメイン名)、局名 [機種] が表示されます。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
接続先サーバ	接続する表示器を設定します。
IP アドレス	接続する表示器の IP アドレスを設定します。接続する表示器はドメイン名でも設定できます。IPC シリーズをご利用の場合はパソコン名でも設定できます。半角英数 500 文字以内で設定してください。
検索ボタン	GP-Viewer EX が接続できる表示器を検索します。選択すると以下のような検索終了後以下のような画面が表示されるので、接続する表示器の IP アドレスを選択します。 
機種	表示器に [局名] が設定されている場合は局名と表示器の機種情報が表示されます。
転送ポート	転送時に使用するポート番号を 1 ~ 65535 で設定します。
PASV チェックボックス	ネットワークセキュリティの関係上、通信がうまくいかない場合に選択します。

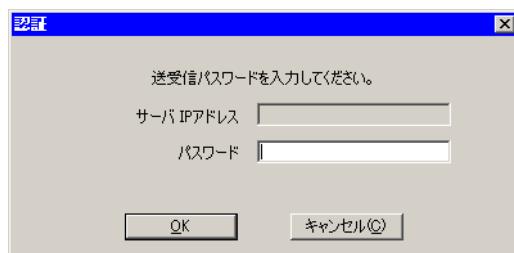
3.1.5 パスワードダイアログボックス

■ 接続キー



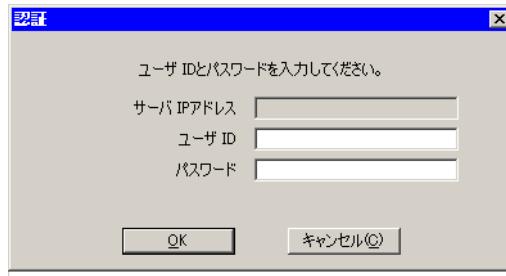
設定項目	設定内容
接続キー	<p>表示器に接続キーが設定されている場合、接続キーを入力します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> キーを間違えると、接続は中止されます。 アイコン [] をクリックするとキーが表示されます。

■ プロジェクトファイル送受信パスワード



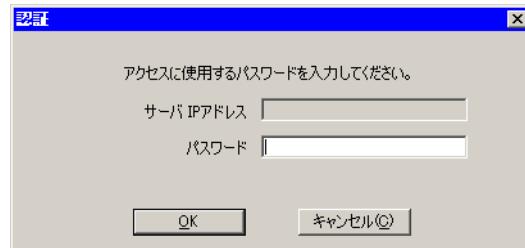
設定項目	設定内容
サーバIPアドレス	プロジェクトファイル送受信パスワードを要求している表示器の IP アドレス（またはマシン名、ドメイン名）が表示されます。
パスワード	<p>表示器にプロジェクトファイル送受信のパスワードが設定されている場合にパスワードは半角英数 24 文字以内で設定します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> パスワードを 3 回間違って入力すると、接続は中止されます。 設定ファイルにパスワードが保存され、次回設定ファイルから接続する場合は保存されたパスワードが使用されます。

■ 認証（ユーザ ID 設定の場合）



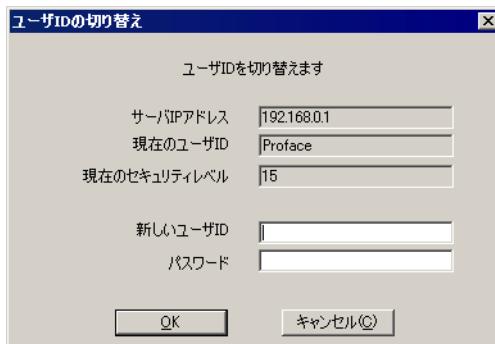
設定項目	設定内容
サーバ IP アドレス	[ユーザ ID] と [パスワード] を要求している表示器の IP アドレス（またはマシン名、ドメイン名）が表示されます。
ユーザ ID	GP-Pro EX のセキュリティ設定でユーザ ID を設定している場合、半角英数 8 文字以内で設定します。
パスワード	ユーザ ID に設定しているパスワードを半角英数 8 文字以内で設定します。

■ ログオン（セキュリティ設定の場合）



設定項目	設定内容
サーバ IP アドレス	接続する表示器の IP アドレス（またはマシン名、ドメイン名）が表示されます。
パスワード	GP-Pro EX のセキュリティ設定で設定しているパスワードを半角英数 8 文字以内で設定します。

■ ユーザ ID の切り替え

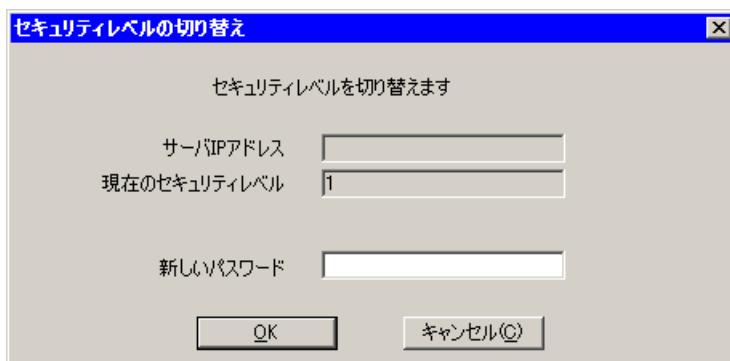


設定項目	設定内容
サーバIPアドレス	接続している表示器のIPアドレスを表示します。
現在のユーザID	現在ログオンしているユーザの[ユーザID]を表示します。
現在のセキュリティレベル	現在ログオンしているユーザのセキュリティのレベルを表示します。
新しいユーザID	切り替えたいセキュリティレベルの[ユーザID]を半角英数8文字以内で設定します。
パスワード	切り替え先のユーザIDに設定されている[パスワード]を半角英数8文字内で設定します。

MEMO

- 切り替え先ユーザIDのセキュリティレベルで、GP-Viewer EXによるブラウズ機能を許可していない場合は、そのユーザに切り替える事はできません。

■ セキュリティレベルの切り替え



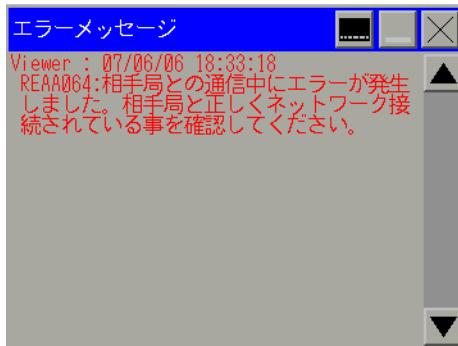
設定項目	設定内容
サーバIPアドレス	接続している表示器のIPアドレスを表示します
現在のセキュリティレベル	現在ログオンしているユーザのセキュリティのレベルを表示します。
新しいパスワード	切り替えたい画面のセキュリティレベルに設定されているパスワードを半角英数8文字内で設定します。

MEMO

- 切り替え先セキュリティレベルのアクセス権限で、GP-Viewer EXによるブラウズ機能を許可していない場合は、そのセキュリティレベルに切り替えることはできません。

■ エラーウィンドウ

表示器側で発生するエラーまたは GP-Viewer EX 側で発生するエラーと一緒に表示されます。エラー表示順番はエラーの検知順番で出力されます。表示器エラーの取得周期は [設定変更] ダイアログボックスの [パフォーマンス設定], [情報の自動更新周期] で設定できます。



設定項目	設定内容
	<p>システムメニューが表示されていないときにシステムメニューを表示します。</p> <p> エラー </p> <p> 音量調節 </p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> システムメニューの項目は画面の右上隅→左下隅または左上隅→右下隅（縦横40ドット以内）の順に0.5秒以内にタッチまたはクリックしても表示されます。
	システムメニューの位置を画面の上部、または下部に切り替えます。
	システムメニュー2番目のメニューを表示します。2番目のメニューを表示している場合は1番目のメニューを表示します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
エラー	<p>常に最新のエラーメッセージを一行で表示します。エラーメッセージが一行で表示しきれない場合は、表示可能な文字数分だけ表示します。</p> <p>• 表示器エラー 表示器側で発生したエラーは以下のように表示されます。</p> <pre>===== Server Error : <表示器の時刻> <エラーコード>:<分類>:<エラーメッセージ> =====</pre> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> システムメニューでエラーが表示される場合は、以下のように表示されます。 <pre>===== Server : <エラーコード>:<分類>:<エラーメッセージ> =====</pre> <p>• 表示器エラーで表示される時刻は表示器で設定されている時刻です。 GP-Viewer EX と設置エリアが異なる場合は GP-Viewer EX と異なる時刻が表示されます。</p> <p>• GP-Viewer EX エラー GP-Viewer EX 側で発生したエラーは以下のように赤字で表示されます。</p> <pre>===== Viewer Error : <ビュワー起動 PC の時刻> <エラーコード>:<分類>:<エラーメッセージ> =====</pre> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> モノクロ機種では黒で表示されます。 システムメニューでエラー表示される場合は、以下のように赤字で表示されます。 <pre>===== Viewer : <エラーコード>:<分類>:<エラーメッセージ> =====</pre> <p>• GP-Viewer EX エラーで表示される時刻は GP-Viewer EX 起動パソコンの時刻です。表示器と設置エリアが異なる場合は表示器と異なる時刻が表示されます。</p>
音量調節	GP-Viewer EX の音量調整ができます。
	エラーメッセージ表示をエラーウィンドウ表示、またはシステムメニューのような1行表示で表示するかどうかを切り替えます。
	エラーウィンドウを閉じます。

MEMO

- 接続機器の通信エラーなど自動的に復旧するエラーについては、表示器側でエラー表示が消えても GP-Viewer EX 側ではエラー表示が消えません。エラー表示を消すためには、画面の切り替えを行うか、またはシステムメニューの  ボタンを押してエラー表示を消してください。
- 複数のエラーが同時に発生しても、エラー取得のタイミングによっては、すべてのエラーが表示されない場合があります。

4

制限事項

4.1	表示	4-2
4.2	SRAM の処理	4-3
4.3	接続	4-4

4.1 表示

以下の場合、[画面モード (D)] で [同期モード (S)] を選択していても表示器と GP-Viewer EX で異なって表示されます。

- GP-Viewer EX で対応していない機能が表示器側で表示された場合
- アラーム部品などのデータをスクロールや並び替え、絞り込み検索 / ソートしている場合
- GP-Viewer EX にはオフラインモードがありません。表示器がオフラインモードへ移行すると、GP-Viewer EX の通信が途絶えるので通信エラーが発生します。
- 新規 [保存] する場合、[名前を付けて保存] するなど、プロジェクトファイル情報の保存場所が変更される場合は、保存処理が開始される前に、メッセージが表示され画面表示をリセットし保存します。この場合データ一括表示グラフは、表示がクリアされます。またアラーム履歴のサブ表示などは表示状態が変わることがあります。
- サーバ側で画面の切り替えを禁止する設定にしている場合、GP-Viewer EX からの画面切替はできません。
- GP-Pro EX のシステム設定ウィンドウ [本体設定] – [遠隔監視設定] で [クライアントから画面切り替えを有効にする] にチェックが入っていても、セキュリティ機能で [GP-Viewer データ書き込み] が無効に設定されている場合、[ビューアからのサーバ画面切り替え] は [無効] になります。

4.2 SRAM の処理

以下の機能については、SRAM 退避領域を共用しているので、同時処理できません。

よって、表示器上の操作による処理と GP-Viewer EX からの要求が重複したりすると、長い間、処理が待ち状態になる可能性があります。

	機能名
1	サンプリングデータ CSV 保存機能
2	アラーム履歴 CSV 保存機能
3	ファイリングデータ CSV 保存機能
4	SRAM 自動バックアップ機能
5	ロギングデータ CSV 保存機能 (GP2000 互換機能)
6	折れ線グラフデータ CSV 保存機能 (GP2000 互換機能)
7	データサンプリングのデータの CSV 保存機能 (GP2000 互換機能)
8	Pro-Server EX からの SRAM バックアップデータの CSV 保存

4.3 接続

- 1台の表示器に同時にアクセスできる GP-Viewer EX は3つまでです。ただし、表示器の負荷状況によっては3つ目の GP-Viewer EX が接続できない場合があります。時間をおいて再接続してください。頻繁に接続に失敗する場合は、システム構成を検討してください。
- 1台のパソコンで表示できる GP-Viewer EX のウィンドウは接続している表示器の台数に関わらず、最大4ウィンドウまでです。
- GP-Viewer EX に表示器が接続中に、その表示器にプロジェクトファイルが転送されたり、表示器がオフラインモードに入った場合は再度接続処理が開始されます。
- バックアップした SRAM の内容を CF カード /SD カードからリストアした後に、GP-Viewer EX [既存ファイルを使用する] で接続すると、接続時にプロジェクトファイルの更新が行われます。
- GP-Viewer EX を Pro-Server EX のリモートパスワード機能を使用している表示器に接続する場合、GP-Viewer EX をインストールしたパソコンを Pro-Server EX のネットワークプロジェクトに参加局として登録し接続先の表示器へ転送してください。

参加局として登録されていない GP-Viewer EX と表示器との通信はできません。なお参加局の種類は [Pro-Server EX] を選択してください。

- 表示器上で操作ロックを有効にすると、接続中の GP-Viewer EX には操作ロック元の IP アドレスが表示されます。

次のように表示器が複数の LAN ポートを持つ場合は、複数あるイーサネット設定のうちどれか1つの IP アドレスが表示されます。そのため、GP-Viewer EX が通信している IP アドレスとは異なる IP アドレスが表示されることがあります。

- SP5000 シリーズをご使用の場合
- GP4000 シリーズ (GP-410* を除く) の LAN ポートを持つ機種で、EZ LAN アダプターをご使用の場合
- EZ LAN アダプターが使用できる機種については、以下を参照してください。

☞ GP-Pro EX リファレンスマニュアル「機種別サポート機能一覧」

5

トラブルシュー ティング

5.1	表示器の動作が遅い.....	5-2
5.2	GP-Viewer EX の反応が遅い.....	5-3
5.3	パソコン上の他のアプリケーション動作が遅い.....	5-4
5.4	エラーメッセージ	5-5

5.1 表示器の動作が遅い

[情報の自動更新周期] が短く設定されていませんか？

◆ 原因

[情報の自動更新周期] が短く設定されている場合は、頻繁に GP-Viewer EX が表示器の更新情報を取得する必要があるため、表示器の負担が大きくなっている可能性があります。

◆ 対処方法

[機能 (T)] メニューから [設定変更 (P)] を選択し、[情報の自動更新周期] の設定を現在の周期より長めに設定してください。

複数の GP-Viewer EX が接続されていませんか？

◆ 原因

1台の表示器に複数の GP-Viewer EX からの接続がされており、表示器の負担が大きくなっている可能性があります。

◆ 対処方法

GP-Viewer EX の接続台数を減らすか、システム構成を検討してください。

5.2 GP-Viewer EX の反応が遅い

情報の更新周期が長く設定されている可能性があります。

◆ 原因

描画更新周期が長く設定されているので GP-Viewer EX の反応が遅くなっている可能性があります。

◆ 対策

[機能 (T)] メニューから [設定変更 (P)] を選択し、[情報の自動更新周期] で更新周期を短く設定し、[ビューアの CPU 使用率] で CPU 使用率を現在の設定値より上げてください。

GP-Viewer EX の通信がネットワークの帯域を圧迫している可能性があります。

◆ 原因

GP-Viewer EX の通信がネットワークの帯域を圧迫している可能性があります。

◆ 対策

[機能 (T)] メニューから [設定変更 (P)] を選択し、[情報の自動更新周期] で更新周期を長く定してください。

MEMO

- ・ 情報更新周期が長くなるので、状況に応じて CPU 使用率を下げるこどもできます。

5.3 パソコン上の他のアプリケーション動作が遅い

GP-Viewer EX が CPU を沢山使用していませんか？

◆ 原因

GP-Viewer EX が使用しているパソコンの CPU の占有率が高い可能性があります。

◆ 対処方法

[機能 (T)] メニューから [設定変更 (P)] を選択し、[ビューアの CPU 使用率] で CPU 使用率を現在の設定値より下げてください。

MEMO

- CPU 使用率が低くなるので、状況に応じて情報更新周期を長く設定することもできます。

5.4 エラーメッセージ

表示器側で発生するエラーと GP-Viewer EX 側で発生するエラーはどちらもシステムメニュー上に表示されます。エラー表示順番はエラーの検知順番で出力されます。表示器エラーの取得周期は [設定変更] ダイアログボックスの [パフォーマンス設定]、[情報の自動更新周期] で設定できます。

エラーの内容については以下を参照してください。

☞ 保守 / トラブル解決ガイド「T.7 表示器で表示されるエラー」

